

戸田みらい基金 活動報告

第15回若手技能者の採用や
育成に資する活動に対す

る助成B

活動テーマ：

① 出前講座による

鉄筋工事業の啓蒙及び新規採用

② 若年技能者の育成・資格取得に向けた講習

1級技能検定合格に向けた

講習会

活動期間：令和5年11月～12月

発表日：令和7年2月10日(火)

- 設 立 : 昭和36年7月
- 代 表 者 : 岩田 正吾
- 出 資 金 : 567万円
- 構 成 員 数 : 88社
- 構 成 員 の 範 囲 : 近畿2府4県及び福井県の鉄筋工事業者
- 所 在 地 : 大阪府大阪府中央区島町1-2-5
- 事 業 活 動 :
 - ①共同購買事業
 - ②外国人技能実習生受入事業
 - ③特定技能外国人支援事業
 - ④教育・福利厚生
 - ⑤その他業界の発展に向けた事業

➤ 出前講座

- ・ 若年者の入職者減少、若年技能者数の減少
※外国人技能者に頼らざるを得ない状況
- ・ 鉄筋工事の認知度が低い
- ・ 業界へ入職した際の専門工事業に対する理解の不足

課外授業の一環として、専門工事業の技能者が行う作業体験会を通して、専門工事業の魅力や役割を伝え、就職の選択肢として活用してもらうほか、建設業の管理監督職に就いた際にもこの経験を生かしてもらうことを目的とする。

➤ 出前講座

① 合同出前講座

とび・型枠・左官・圧接・鉄筋の5職種合同の出前講座

※他団体との連携

- ・ 近畿建設躯体工業協同組合
- ・ 大阪府左官工業組合
- ・ 関西圧接業協同組合

・ 対象者

大阪府立西野田工科高校 建築都市工学科 2年生 34名

修成建設専門学校 専科2級 2年生

30 内容

大阪府立のテクノセンターを会場とし、学校から会場までバスを手配する。2校を午前と午後に分け、1日で2校実施する。学生は5班編成となり、5職種を20分ずつ順番に体験。その後、質疑応答の時間をとり、意見交換を行う。また、アンケートにも協力してもらい今後活かす

➤ 出前講座

① 合同出前講座



➤ 出前講座

② 個別出前講座

鉄筋と圧接の2職種で学校へ出向いた出前講座

※他団体との連携

・ 関西圧接業協同組合

・ 対象者

大阪府立都島工業高校 建築科 2年生 52名

京都府立宮津天橋高校 建築科 2年生 21名

※内、9名は受講後に鉄筋職種の技能検定3級を受検予

定

・ 内容

対象の学校へ出向き、鉄筋と圧接の2職種を体験してもらう。学生は班に分かれ、鉄筋の3級モデルを組み上げる体験と圧接を20分体験する。その後、質疑応答の時間を取り、意見交換を行う。また、アンケートにも協力してもらい今後活かす。

➤ 出前講座

② 個別出前講座



➤ 出前講座

アンケート結果からは、「やりがいがありそう」というプラスの意見が70%あったが、「体力が必要」や「休みが少ない」という意見も50%あった。

【その他個別の記述】

- ・1つの建物を作るには、たくさんの会社が協力している事を知れた。
- ・どの作業も安全対策をしっかりとっていて、建設現場がいかに危険かが伝わった。
- ・今までイメージでしかなかった建設現場の中をみる事ができてよかった。
- ・自分には型枠が一番向いていると思った。
- ・圧接が印象的だった。
- ・鉄筋の結束が一番うまいといわれうれしかった。

宮津天橋高校の学生は9名全員が技能検定3級に合格。実施2年後に、出前講座を経験した学生1名が、組合員の会社へ就職。

➤ 1級技能検定講習会

- 入職後の個社での教育に課題
※各社で教育するには負担が大きい
- 若年技能者の技能向上、生産性向上
※人材不足のため、生産性向上が求められる。



- 技能検定1級の合格率アップ。
- 対象者
令和5年度後期 技能検定1級受検予定者
 - 鉄筋施工 鉄筋組立作業 1級
 - 鉄筋施工 鉄筋施工図作成作業 1級

➤ 1級技能検定講習会

技能検定1級(鉄筋組立作業及び鉄筋施工図作成作業)の学科及び実技講習を実施。

学科講習では、過去問題と共通テキストを使用し、勉強方法や過去問題の解説を中心に行う。

鉄筋組立作業実技では、1級モデル1台に受講者4名配置させ、実際に組みながら手順や注意点などを重点的に指導。

施工図作成実技では、問題を解いていく順序などを教える座学と、実際に製図板を使用して行う実践的な講習の2日間で構成して実施しました。

日程

・鉄筋組立作業 学科 1日 、 実技 1日
計2日

・施工図作成作業 座学 1日 、 実技 1日
計2日

➤ 1級技能検定講習会



➤ 1級技能検定講習会

学科と施工図作成に関しては非受講者よりも講習受講者の方が合格率が高く、効果が見られた。

しかし、組立実技に関しては講習受講者より非講習受講者の方が上回るという結果になった。これには再受検者(初回受検時に講習を受講し不合格で、再受検)等の影響もある為、一概に講習内容に不備があったとは限らないが、講師ともども見直しを検討する。

【2023年度試験結果】

試験区分	全体			受講者			非受講者	比較
	受検人数	合格人数	合格率①	受検人数	合格人数	合格率②	合格率③	②-③
学科	45人	37人	82.2%	31人	27人	87.1%	71.4%	15.7%
組立実技	57人	30人	52.6%	32人	15人	46.9%	60.0%	-13.1%
施工図実技	12人	6人	50.0%	7人	5人	71.4%	20.0%	51.4%

➤ 出前講座

- ・ 教材材料準備、運搬費等
- ・ 外部講師謝金
- ・ 学生送迎費

円

約 7万円
約 6万円
約 4万

- ・ 配布パンフレット制作
パンフ



➤ 1級技能検定講習会

- ・ 会場費
万円

- ・ テキスト、教材材料準備、運搬費等
- ・ 外部講師謝金

約 9
約35万円
約15万

この度は、
ご支援賜りありがとうございました。
ご清聴ありがとうございました。